

平成 25 年度

## 平成 25 年度の取組

平成 26 年 2 月 28 日現在

## 1 職員の派遣 (25 年 4 月以降)

## ○ 県職員 (派遣期間 25. 4. 1～26. 3. 31)

派遣先		職種	人数
福島県	衛生研究所理化学課	環境	1
宮城県	東部土木事務所用地班	一般事務	2
	仙台地方振興事務所農業農村整備部	農業土木	1
	仙台地方振興事務所水産漁港部	水産	1
	農林水産部漁港復興推進室	農業土木	1
	気仙沼地方振興事務所農林振興部	林業	1
岩手県	沿岸広域振興局農林部宮古農林振興センター	一般事務	1
	環境生活部廃棄物特別対策室	化学	1
計			9名

## ○ 警察官

派遣先	職種	人数	期 間
福島県警察	機動隊	61 名	25. 4. 2～25. 4. 18
		70 名	25. 7. 9～25. 7. 25
岩手県警察	警察署	5 名	25. 4. 1～26. 3. 31

(参考)

## ○ 市町職員

派遣先		人数	派遣元市町
県	市町村		
宮城県	石巻市	5	鈴鹿市(2)、伊賀市、桑名市、菰野町
	多賀城市	1	伊賀市
	気仙沼市	1	桑名市
	南三陸町	1	鳥羽市
	山元町	1	津市
岩手県	陸前高田市	1	松阪市
福島県	相馬市	1	菰野町
	新地町	1	四日市市
計		12 名	

## 2 被災地支援

### 【防災対策部】

- 久慈市水族館「もぐらんぴあ まちなか水族館」の復興を支援（26年2月～3月）
  - ・冷凍庫・フルフェイスマスク等を支援した。
  - ・県内水族館に働きかけ、魚類（平成26年度後半の新「もぐらんぴあ」完成時）や書籍（冷凍庫等と同時期）を支援いただけることになった。

### 【健康福祉部】

- 共同募金会、日本赤十字社の募金箱を県本庁舎及び各総合庁舎に設置（23年度～25年度末）  
※共同募金会の募金は平成25年度末で終了、日本赤十字社の募金は平成26年度も延長決定
- 県民の方から同意をいただいた義援金を、「東日本みやぎこども育英募金」に寄付（23年度～）

### 【環境生活部】

- 第18回三重県全国俳句募集事業（24年度）の特別企画「東北応援の一句」を、県ホームページ「三重の文化」で公開（25年6月）、入選作品等を他の作品とともに部門の句集として取りまとめ、東北地方の図書館等に寄贈（25年8月）
- 県立図書館で写真展「リメンバー大槌」を開催（25年6月）
- 「みえ災害ボランティア支援センター」の活動（24年3月14日～25年12月28日）
  - ・ボランティア活動支援金を募集（25年4月～9月）
  - ・ボランティアバス「みえ発！ボラパックⅡ」を実施（25年4月～9月）8便（175人）
- 復興支援パネル展（久慈市）の実施（復興状況、地域の紹介・PRなど）（25年4月～26年2月 22カ所実施）
- 災害廃棄物処理のため、岩手県久慈市に放射線測定器1台を無償貸与（～26年1月）

### 【農林水産部】

- 岩手県久慈市と三重県内のグリーン・ツーリズム実践者等の相互交流を実施（25年10月～12月）
  - ・久慈市の実践者等を10月22日・23日に開催した「第2回三重県グリーン・ツーリズムネットワーク大会」25年10月に招待し、県内の取組を体験してもらうとともに情報交換等を実施。
  - ・三重県内の実践者が12月18日・19日に久慈市を訪問し、久慈市での実施取組の体験及び調査を通じた交流等を実施。



久慈市の実践者の方々



久慈市の実践者との交流

- 県内百貨店との連携による岩手県物産販売を支援（25年9月）



- 「みえ森林フェスタ」等で東北応援コーナーを設置し、宮城県の物産を販売（25年5、10月）

### 【雇用経済部】

- 「東日本大震災チャリティイベント in 伊勢安土桃山文化村」で被災地への募金活動を支援（7月、12月）
- 「第7回美し国三重市町対抗駅伝」（26年2月）市町交流市場（物産展）で、久慈市による海女等の観光PR及び久慈まめぶ汁等の物産販売を実施
- 海女文化シンポジウムにおいて、久慈市の観光展示を実施（平成26年3月）
- 「リーディング産業展みえ」で東日本復興支援ブースを設置し、東北3県の特産品を販売（25年11月7～8日、売上274,000円）
- 被災企業等の操業支援窓口を設置（通年）
- 被災企業の事業継続への支援（通年）
- 東北地方の観光パンフレットを配布し、物産を販売（通年）

### 【教育委員会】

- 気仙沼及び南三陸町へスクールカウンセラーを派遣（通年：25人）
- 平成25年「県民の日」記念事業（25年4月）で東北応援コーナーを設置し、物産販売を支援（25年4月）



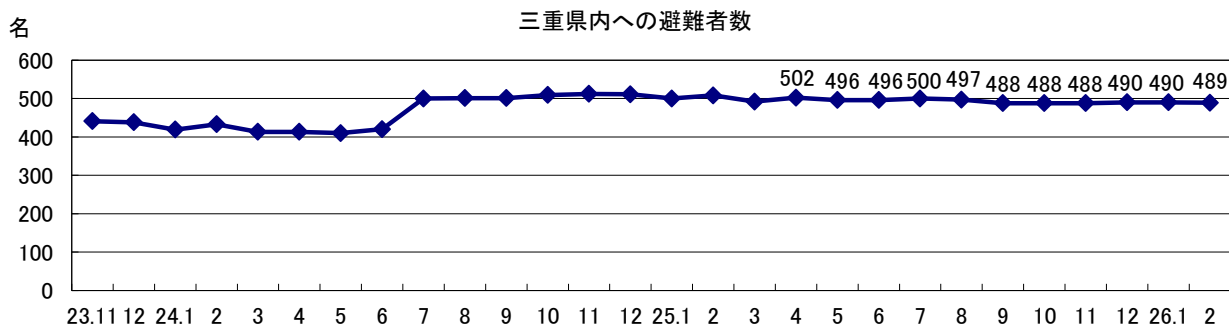
- 久慈市及び山田町との交流と支援、ボランティア研修に高校生及び教職員等を派遣（25年8月）
- 学校防災交流事業で、中学生及び教職員等が宮城県を訪問（25年8月）
- 高校生2名を「ハイスクールサミット in 東北」に派遣（25年8月）

### 3 県内避難者支援

#### 【全体的事項】

○ 避難者数 (26年2月20日現在)

岩手県 116名 宮城県 54名 福島県 219名 茨城県 63名 千葉県 14名  
 栃木県 15名 埼玉県 5名 神奈川県 3名 計 489名 (170世帯)



	岩手県	宮城県	福島県	茨城県	その他	合計
四日市市	112名	17名	45名	54名	18名	246名 (68世帯)
津市	0名	4名	53名	0名	6名	63名 (23世帯)
鈴鹿市	2名	15名	31名	0名	0名	48名 (20世帯)
その他市町	2名	18名	90名	9名	13名	132名 (59世帯)
合計	116名	54名	219名	63名	37名	489名 (170世帯)

#### 【防災対策部】

○ 総合相談窓口として、一時的避難場所等の情報を収集・提供 (通年)

○ 県内避難者からの相談 (通年)

(25年度)

4月3件 借り上げ住宅の供与期間相談 1件 社宅の滞在切れ相談 1件 転居相談 1件

5月1件 自主避難者の県営住宅入居相談 1件

7月2件 家族が増えたため転居相談 1件 県職員住宅の供与期間相談 1件

9月3件 雇用促進住宅の入居期限 1件 来年度の講演会の計画について 1件  
 中学生からの質問 (県の取組について) 1件

11月1件 避難者と住宅提供者とのトラブルについて 1件

12月2件 被災地で額縁の展示相談 1件 千葉県でのホットスポットの存在について 1件

1月2件 転職のため転居相談 1件 県内避難者の交流場所について 1件

○ 県内被災者支援団体「みえ災害ボランティア支援センター」とのアンケート調査打合せ (25年10~11月)

○ 被災県、みえ災害ボランティア支援センター、ボランティア団体等からのお知らせを、市町を通じて避難者へ配布 (通年)

(25年度)

・宮城県 11件 (毎月)

・福島県 10件 (毎月)

・県内避難者支援団体 4件 (みえ災害ボランティア支援センター、防災一座、ふくしまいせしまの会)

・その他 5件 (司法書士会、弁護士会、新聞社 )

・三重県 1件

### 【総務部】

- 被災者への職員公舎の提供 2戸 2人

### 【健康福祉部】

- 災害救助法に基づく被災県からの応援要請に応じ、避難者への住宅の提供を実施（23年度～）
  - ・被災者への住宅の提供 4世帯 16名（継続）
- 被災地からの避難者向けに、ホームページで福祉関連情報を提供（23年度～）

### 【環境生活部】

- 「みえ災害ボランティア支援センター」の活動（25年12月28日まで）
  - ・県内避難者支援「みえで仲間をつくり隊」の開催（25年5～11月）3回
  - ・「コープみえ くらしたすけあいの会」と協働で、生活支援事業を実施（25年5月～9月）

### 【地域連携部】

- 全国避難者情報システムの運用

### 【農林水産部】

- 被災した農業者の受入定着を支援、県内に避難・移住された農業経営者等への営農サポート（通年）

### 【県土整備部】

- 東日本大震災で被災等された方を対象として一時的な居住の確保のため、県営住宅を提供（23年度～）
  - ・対象者は、東日本大震災で被災した者及び福島第一原子力発電所事故により帰宅困難な者
  - ・県営住宅の使用期間は、使用開始から4年間
  - ・受入状況 （26年2月末 現在 5戸14人）
- 被災者を対象に、鈴鹿青少年の森において炊飯場の利用料金を免除（通年）

### 【企業庁】

- 企業庁職員住宅の提供可能数をホームページに掲載（単身用～大台町内5戸、世帯用～四日市市内5戸）

### 【教育委員会】

- 被災児童生徒等の小中学校等への転入を支援（通年）
- 被災地域の高等学校等の生徒で、保護者等の転居、親族家族への避難等により本県の県立高等学校等への転入学を希望する者への柔軟な対応（通年）
- 三重県立青少年教育施設（鈴鹿青少年センター・熊野少年自然の家）での、被災者の宿泊料金及び施設利用料金等の免除（通年）
- 三重県教職員住宅への被災者の入居支援（6か月間無料）

## 4 その他

### 【防災対策部】

- 県ホームページ「東日本大震災に伴う支援に関する情報」の更新管理(通年)
  - ・被災地からの被災者受入状況(毎月末現在)の掲載(毎月上旬)
  - ・宮城県からの地域情報紙「みやぎ復興プレス」(第11～21号)のリンク
  - ・福島県からの避難者向け地域情報紙「ふくしまの今が分かる新聞」(第7～16号)のリンク
  - ・岩手県からの地域情報紙「岩手県から移動している被災者への情報」(第40～57号)のリンク
  - ・福島県の地元新聞閲覧可能な場所案内のリンク(25年4月)
  - ・「避難者健康相談会@いせ」の開催案内のリンク(25年5月)
  - ・「福島県地域づくり総合支援事業の募集案内のリンク(25年5月)
  - ・福島県の「地域の寺子屋設置支援事業」の二次募集のリンク(25年7月)
  - ・「東日本大震災支援全国ネットワーク」HP開設案内のリンク(25年7月)
  - ・福島県の「地域の寺子屋設置支援事業」の三次募集のリンク(25年10月)
  - ・愛知県ボランティアセンターの「2013年度災害孤児遺児応援金申請について」のリンク(25年12月)
  - ・「東日本大震災避難者のための無料法律相談会」(26年1月)
  - ・三重県における環境放射能・水道水・降下物測定結果の掲載(26年2月)
  - ・東日本大震災三周年追悼式のHP掲載(26年2月)
  - ・「みやぎ被災地生活支援ガイドブック」のリンク(26年2月)
- 東日本大震災避難者のための無料法律相談会を開催(26年2月)
- 東日本大震災三周年追悼式を県庁講堂で実施(3月11日)

### 【戦略企画部】

- 宮城県との広報紙紙面交換による交流促進  
「みやぎ県政だより9・10月号」に、三重県からの応援メッセージと観光情報を掲載  
「県政だよりみえ9月号」に、被災地への支援に対するお礼のメッセージを掲載

### 【健康福祉部】

- 県内4カ所の空間放射線量率測定結果、及び水道水・降下物(大気中の雨水やちり等)の人工放射性物質の測定結果について、ホームページで情報を提供(23年度～)
- 県内に流通する食品の放射性物質検査を実施(年間60検体実施)
- 保育所の給食一食全体について、放射性物質の有無や量の事後検査を実施する市町に対して、補助を実施(24年度～)  
25年度 9市町に補助

### 【雇用経済部】

- <県内産業への対応>
- ◆中小企業への対応
  - 工業製品に関する残留放射能測定の実施(通年)